

# 萩市観光協会公式ホームページ (WEB サイト) アクセス分析【令和2年版】

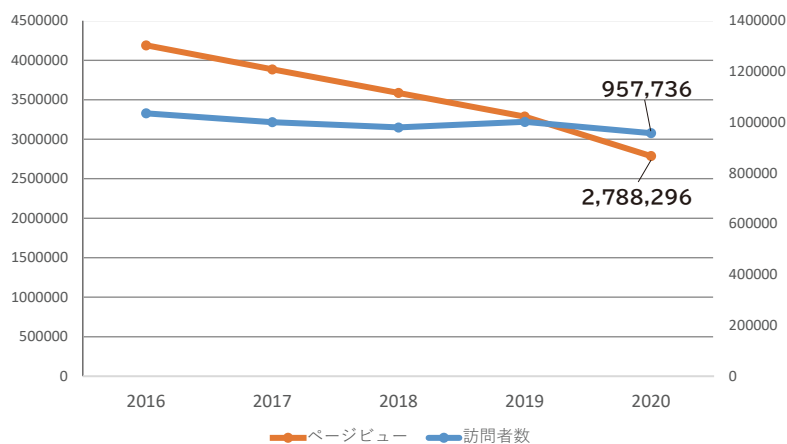
一般社団法人萩市観光協会  
DMO 事業マーケティング責任者 中村浩二  
観光企画係長 江川麻美

萩市観光協会公式WEBサイトの昨年度の閲覧状況からアクセス解析を行いました。最近の観光動向等のご参考になれば幸いです。

## 1. ページ閲覧数（ページビュー数）と訪問者数（ユーザー数）

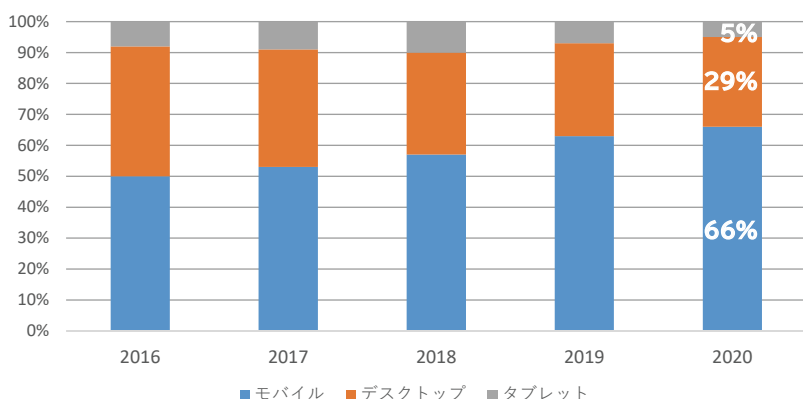
右の図の青い折れ線グラフは各年ごとの サイト訪問者数で、昨年度は 957,736 人（対前年比 4.4 %の減）。オレンジの折れ線はページの閲覧数で、昨年度は 2,788,296 ページ（対前年比 15.1 %の減）です。共に、2015 年の大河ドラマ「花燃ゆ」・世界遺産登録を境に年々減少傾向が続いています。特に昨年度は、**新型コロナウイルス感染症の影響による観光志向の減退が顕著**に見られます。また、数値的に1人当たりのページビュー 数が減少していることが分かります。この要因は、WEB サイトコンテンツの魅力が低下したという評価なのか、はたまた、目的のページにすんなりとたどり着いた（閲覧効率がアップした）と評価するのかは、更なる分析が必要です。

図1 HPアクセスについて（訪問者数とページビューの比較）  
【2016年～2020年】



## 2. 閲覧者が使用するデバイスは今や「スマホ一強」

図2 使用デバイスの割合（モバイル・デスクトップ・タブレット）  
【2016年～2020年】

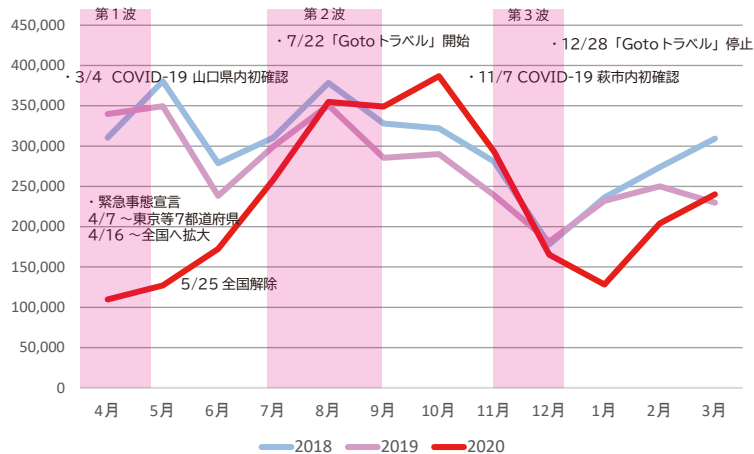


左の図2は公式 WEB サイトの閲覧者が使用する電子機器端末（デバイス）の割合を示したものです。青色のグラフがいわゆる「スマホ」による閲覧で、年々増加している。昨年度は 66%で、**3人に2人はスマホから閲覧している**ことが分かります。反対に、パソコン等デスクトップからの閲覧は減少傾向、iPad 等のタブレット端末からの閲覧は横ばいの状況です。昨年4月に当サイトをリニューアルし、**完全レスポンス対応**にし、スマホからも見やすいページに自動で切り替わるようにしたことは大変有効でした。

## 3. 昨年度は「新型コロナ」に振り回された一年

右の図3は、過去3か年の月別で見たページ閲覧数の推移です。赤色が昨年度です。ご覧のとおり、新型コロナウイルス感染症の国内感染で大騒ぎとなり、初の緊急事態宣言が全国で発令された4月～5月期と第3波となった 2021 年1月～2月期は閲覧数の低下が例年に比べ顕著に見られました。しかし、反対に**昨秋9月～11月**は、**例年を上回る閲覧数を記録**しました。これは、国の「Gotoトラベルキャンペーン」に加え、萩市は「萩にゃんクーポン」等の独自の観光キャンペーンが奏功したと推察されます。実際にこの期間は多くの観光客が来萩し、賑わいを見せていました。これはやはり、コロナ禍での旅行需要が爆発したものと思います。

図3 月別ページビュー数の比較  
【2018年～2020年】



つまり、今後緊急事態宣言が終了し、加えて、ワクチン接種の普及等による**コロナ収束となった後の観光誘客が大変期待**できるものと思います。そこに向けた観光客受入体制の準備が必要です。

	2013		2014		2015		2016		2017		2018		2019		2020	
【都道府県別】 上位6県 ※数字は、日本からの アクセス数の中の割合	東京都	22%	東京都	22%	大阪府	21%	大阪府	26%	大阪府	26%	大阪府	25%	大阪府	23%	山口県	28%
	大阪府	14%	大阪府	14%	東京都	16%	東京都	16%	山口県	17%	東京都	18%	山口県	20%	大阪府	21%
	山口県	13%	山口県	13%	山口県	13%	山口県	16%	東京都	17%	山口県	17%	東京都	17%	東京都	12%
	福岡県	11%	福岡県	11%	福岡県	9%	福岡県	8%	福岡県	6%	神奈川県	6%	福岡県	8%	神奈川県	9%
	広島県	5%	広島県	5%	広島県	6%	神奈川県	6%	神奈川県	6%	福岡県	6%	神奈川県	6%	福岡県	6%
	神奈川県	4%	神奈川県	4%	神奈川県	5%	広島県	4%	広島県	4%	広島県	4%	広島県	5%	広島県	6%
海外からの アクセス件数	6,174		10,942		20,339		20,489		20,921		20,107		20,324		11,723	
【国別】 上位6か国 ※数字は、日本以外の国から のアクセス数の中の割合	米国	30%	米国	23%	米国	38%	米国	21%	米国	20%	米国	28%	米国	27%	米国	34%
	台湾	12%	台湾	15%	台湾	16%	台湾	18%	台湾	19%	台湾	14%	韓国	9%	中国	12%
	韓国	10%	香港	9%	香港	10%	香港	11%	韓国	11%	韓国	10%	台湾	7%	韓国	8%
	中国	5%	韓国	7%	韓国	6%	韓国	8%	香港	10%	香港	9%	香港	6%	台湾	7%
	香港	4%	中国	5%	中国	3%	イギリス	4%	中国	4%	中国	5%	中国	5%	フランス	5%
	オーストラリア	3%	ブラジル	4%	オーストラリア	3%	中国	3%	オーストラリア	3%	フランス	3%	イギリス	3%	香港	4%

## 4. 閲覧者属性の変化 - 地域内観光の伸び -

上の表は、過去8か年のサイトページ閲覧者の居住地です。上段が国内の閲覧者の都道府県別上位6県、下段が海外閲覧者の国別上位6国の統計です。昨年は、**これまで1位だった大阪府を抜き、山口県が1位**となりました。要因はやはり「新型コロナウイルス」と思われます。特に大都市圏では、相次ぐ緊急事態宣言等による旅行需要がなかったこと、また、大移動を伴わない**近隣観光需要が伸びた**（というか需要があまり減らなかったという方が正しいか）ことが要因と思われます。

コロナ収束後に、萩への観光が選ばれるよう情報発信に努めて参ります。

海外は、アメリカが変わらずトップですが、2位以下を見ると、中国が2位に、フランスが5位に浮上してきました。

中国に関しては、コロナ感染の封じ込めが早かったこと、もともと海外旅行ニーズの高いところで、まずは近い国・日本へということが要因ではないでしょうか。フランスは、昨年度はコロナ感染が深刻な国の一つでしたが、もともと文化的に旅好きな国民性であることと、東京オリンピック開催という時勢もあいまってランクアップしたのではないかと考えます。

いずれにしろ、インバウンド旅行関係者の調査でも、コロナ収束後の旅行先候補に「日本」を選ばれる外国人が多いということからも、今後の外国人旅行者の増加は期待できるものと思います。当協会も、萩市の観光課等と連携しながら、情報多言語化やWi-fi、各種施設の洋式化などの環境整備と、外国人も楽しめる体験等のプログラムづくり、おもてなしの向上など観光最前線で頑張っておられる事業者の皆さまとともに進めて参りたいと思います。

## 5. さいごに

萩市観光協会公式WEBサイトは、萩の観光ポータルサイトとして、今後も萩の情報発信源として、全世界に萩を発信して参ります。今回、ホームページの閲覧状況から、現状や未来予測について考えてみました。少しでもご参考になれば幸いです。今後も、こういった分析結果等を会員の皆さまと情報共有していきたいと思います。

新年度に入っても、国内においても、都市部では緊急事態宣言が未だに解かれていない状況です。なかなか、アフターコロナという言葉が現実味を帯びてきませんが、「明けない夜はない」と信じ、多くの観光客をお迎えできるよう、また、来られた方が1人も残すことなく、笑顔と感動を与えることのできるよう、萩らしい観光地づくりを共に進めて行きましょう。

